

創立40周年 創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！



とらのき

立川市立立川第七中学校
校長 大神田佳明
学校だより
第7号

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

平成29年11月9日

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

心の中に響く感動の合唱 創立40周年記念行事

校長 大神田佳明

10月21日の本校創立40周年記念式典・祝賀会には、多くのご来賓の皆様にご臨席いただきありがとうございました。式典では、40年間七中で受け継がれてきた良き伝統や校風を振り返るとともに、新たな決意をもって式に臨み、感謝の気持ちや七中生としての誇りを態度や合唱で表すことができました。また、祝賀会では実行委員会の皆様、保護者の皆様のご尽力により、西砂川地域の良さをいかした温かい祝賀会を開催できましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、10月31日（火）平成29年度40周年記念合唱コンクールを、たましんRISURUホールで開催いたしました。ご多用の中、400名以上の保護者、地域の皆様にご来場いただきありがとうございました。10月は、定期考査や周年行事等で練習する時間は限られましたが、音楽の授業や放課後の時間を有効に使い、生徒が主体となって練習に取り組みました。どうしたらクラスが団結できるか、どのように歌えば気持ちが相手に伝わるかなど、実行委員やパートリーダーを中心に何度も話し合いながら練習を重ねました。本番では、各学年とも緊張しながらも舞台の上で精一杯の歌声を響かせました。どのクラスも、仲間を信じて指揮者に集中して歌った合唱は、聴いている人に感動を与えてくれました。さらに、合唱を通してクラスの仲間が支え合い、認め合うことの大切さを学び、団結力や一体感が育まれました。特に、3年生の合唱は一つ一つの言葉を丁寧に歌い、厚みのある声量と、男女のバランスなど、さすが最上級生という合唱でした。

今回特別審査員としてご指導いただいた市川俊行先生は、音楽科の元校長先生で、全日本音楽研究会の大会長の他、NHK全国音楽コンクール全国大会の審査員も努められました。市川先生からは、七中の合唱レベルを上げるために多くのアドバイスをいただきましたが、何より合唱が生徒を成長させ、中学校生活を充実したものするために大切なことや、金賞や銀賞の結果よりもっと大切な価値があることを教えていただきました。開会式後に、今年の創立40周年記念式典のために全校で取り組んだ「ふるさと」を合唱しました。1年生から3年生までが順番に歌い、それぞれの学年の生徒の成長が表現されました。最後に全員の声为重なり合ってホールに響きわたる全校合唱は圧巻でした。40周年記念式典では、多くのご来賓の皆様から「七中生徒の合唱に感動したよ。」と高い評価をいただきました。合唱は、ハーモニーや発声などの技術も大切ですが、何より相手の心に伝わる七中の合唱を今後も充実させていきたいと思っております。



■オリンピック・パラリンピック講演会■

元100M平泳ぎ日本記録保持者 不破 央氏

不破 央（ひさし）さんは、水泳選手として日本選手権や世界選手権で活躍したアスリートです。現在は、水泳の指導やシンクロパフォーマンス活動など全国で活躍されています。今回は、「夢を実現するチカラ」というテーマで、不破さんが中学校1年で寮生活を始め、苦しい練習を経て夢が実現した経験を楽しく語っていただきました。印象に残ったのは、指導した生徒の中で、人々に認められ生き残れた人の多くは「誰にでも気持ちよく挨拶ができる人」また、人生84年を24時間にすると、中学生はまだ夜明け前の4時頃で目覚めていない時間、これから始まる人生で夢や希望をもって頑張ってほしいとうことでした。不破さんのお話から、元気や勇気をたくさんもらった七中生には、ぜひ自分の力を信じて成長してほしいと思っております。



立川市民科 ～1学年 農業体験学習

立川市民科の一環として、10月12日(木)、1年生全員の農業体験を行いました。本番を迎えるにあたって、事前学習として22件の農家を班ごとに訪問し、農業体験のお願いとともに、仕事の内容を確認させていただきました。当日は晴天に恵まれ、農作物の収穫や袋詰め、出荷準備、種まきなど、普段の生活では経験することができない大変貴重な体験をさせていただきました。また、農家の方からは、地域のお話や農業のやりがいなど多くのことを勉強させていただきました。協力してくださった農家の皆さんありがとうございました。



合唱コンクールの取り組みを財産に！



	1年	2年	3年	最優秀賞
1組	銀賞	金賞	金賞	1-5 2-4 3-2
2組	金賞	銀賞	金賞	
3組	銀賞	銀賞	金賞	
4組	銀賞	金賞	金賞	
5組	金賞	銀賞		

今年は創立40周年でしたが、合唱コンクールも、その節目にふさわしいものになったのではないかと思います。クラス全員で力を合わせて1つの合唱を創り上げるということは、想像以上に難しいことです。どのクラスでも、生徒同士のいさかみや気持ちのすれ違いがあり、そして多くの話し合いや練習を経て、当日はRISURUホールに素晴らしい合唱を響かせてくれました。

コンクールというものの性質上、賞という評価はありますが、それよりも、そこに至るまでの取組から得たものの方が、皆さんにとっては大きな財産となります。一人一人が得たもの、そしてクラス一丸となることで得られたものを大切に、3学期、そして来年度へとつなげる力にしてほしいと思っています。

【 文化的行事実行委員長 副島 亮子 】

平成29年度 立川市中学生の主張作文

11月3日(金)文化の日、たましんRISURUホールで第37回中学生の主張大会が開催されました。張替さんは、広島市の被爆者である祖母のことを紹介し、命の大切さを語り継ぐことの大切さについて発表し、見事、市長賞を受賞しました。

○市長賞 1年 張替 望恵 「命の尊さを語り継ぐ」

○西砂地区代表選考会 優秀賞

- 1年 山口 茉南 「最後まで責任をもって」
- 1年 矢野 想介 「幸福とは」
- 1年 須田 結菜 「外国人と日本人の交流」
- 2年 比留間詩桜 「『信頼する』ということ」
- 2年 松本 莉子 「かわいそうなんかじゃない」
- 2年 筒井 ゆり乃 「今を生きる」
- 3年 竹内 葉 「部活動で学ばせて頂いたこと」
- 3年 柳澤里久希 「魂の返事」
- 3年 小林 央弥 「読書をすることの重要性」



◆中学生権作文コンテスト

- ・入選 3年 庄村 胡桃
「自分にあてて考えてほしい」
- ・入選 3年 金 平和
「虐待の残こくさや現実」

◆税の標語 立川間税会

- ・会長賞 1年 清瀬 茉莉
「羽ばたこう 私の思いが 税により」
- ・全間連入選 1年 高木 大輝
「学ぼうよ 皆で支える 税金を」